



発言する向原さん(12月4日)

12・4の集會に鹿児島から参加しました。その前日の3日には若狭の原発を考える会主催の講演会が京都であり、川内原発の現状についてお話させていただきました。

12・4全国集會に参加して 県民を愚弄する九州電力

たのです。

この間の九電の傲慢さには、目に余るものがあります。延長を申請したその日、池辺和弘九電社長は、電事連会長として岸田総理に面談していただきました。手土産代わりの申請というわけです。

鹿児島県は、原子力専門委の分科会を設置して、九電の特別点検を集中審議している最中でした。その結果を見ることもない申請です。県民を愚弄する行為です。また、分科会に出す九電資料は商業機密を盾に白塗りばかり。安全より商業機密というわけです。申請した12日まで、九電は申請するかどうかわからない、

と言いつけていました。運転延長しても、5年ほどで使用済み燃料プールは満杯になります。九電はこのことには一切触れません。やっただもん勝ち、何でもできると、九電は考えているようです。今回、講演会、集會に参加させていただき、川内原発を抱える鹿児島県民の責任を強く感じました。それは、私たちが責任をもって地元の原発を廃炉にしていかなければならぬということです。



主催者挨拶・中嶋哲演さん

鹿児島県民は放射能の恐ろしさを知らぬ無知蒙昧な民ではない。目先の金と引き換えに先祖から伝えられた土地や海を売るような拝金主義者でもない。権力の脅しにたやすく屈服する臆病者でもない。ありとあらゆる方策を探り、必ずや、九電を川内原発を追

い出していきます。(ストップ川内原発！) 3・11鹿児島実行委員会 共同代表 向原祥隆

暑くも寒くもない集會日和で、関電本店前の集會とデモに900名が集まりました。やはり岸田政権の原発回帰宣言への怒りが満ち満ちているのでしよう。主催者あいさつで、原子力発電に反対する福井県民会議の中嶋哲演さんは、国と東電は福島原発事故がなかったかのように暴走している。そもそも、多くの電力を必要としない福島や若狭地域に何故多数の原発を作ったのか、「電

12・4全国集會に参加して 関電本店前に900名

力ひつ迫のため」として政府・東電が危険な老朽原発の再稼働や新規増設まで持ち出していることに怒りを込めて批判し、美浜3号機の日も早い停止と、高浜1、2号機をこのまま廃炉にしようと訴えました。

続いて、美浜原発運転差し止め仮処分について、井戸謙一弁護士が、やつと今月12日から20日の間に決定との連絡があったと報告。(木原さんより、決定当日には大阪地裁で集會を持つと提起が行われた。)さらに、検察審査会の「起訴相当」決定にもかかわらず大阪地検が2度目の不起訴決定をした関電汚職問題について、検察審査会に再申請してでも引き続き闘うこ

老朽原発
うごかすな！
ニュース

第87号
発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102



関電本店前に続々と集まるみなさん(開会直前)



地元で闘う東山幸弘さんのメッセージが読み上げられました。東海第二原発運転差止訴訟原告団、ストツブ川内原発! 3・11鹿児島実行委のお二人は、前日にも京都市内講演会で詳細な報告をされています。名古屋の老朽原発40年廃炉訴訟市民の会からは、規制委員会には申請書類を読みもせずに通している怒りの発言に熱がこもります。

このほか原発賠償3訴訟原告からの発言、全国と関西の各地からの発言やメッセージ、労働組合からの発言などを受け、最後に集会決議を採択し、うつぼ公園から御堂筋デモに出発、右翼の妨害もありましたが1時間半のデモを貫徹しました。解散地点では木原壮林さんが、美浜3号機運転差止止め仮処分決定を次の焦点として再度の結集を呼びかけました。

(アジア共同行動

永谷ゆき子)

12・4全国集会前夜に 老朽原発を考える講演会、開かれる

12月3日、京都駅前のカンパスプラザで「老朽原発を考える講演会」が50人の参加で開かれました。講師は東海第二原発をたたかう披田信一郎さんと、川内原発から向原祥隆さんです。翌日の「関電包囲全国集会」で発言をお願いしているのですが、当日は発言の時間も短いため、前日にじっくりとお話を伺おうという趣旨で開かれました。

老朽原発を考える講演会(京都・キャンパスプラザ)



をもらう特殊な会社であること、④控訴審の裁判長が元法務省官僚であるため予断を許さない、⑤一審勝訴の理由などについて述べられました。続いて川内原発をたたかう向原さんから「京大の2年生のとき紫露草が放射能に反応し、原発周辺で増えることを知り、原発に疑問を感じていた。原発が目の前にあるので

原発だけは目の敵にしている」と思っ、今日にいたる」と述べられました。①川内原発で放射能が噴出したら偏西風によって日本列島に放射能が撒きちらされる、②九電の断層評価がむちゃくちゃで、活断層が川内原発の近くで消える不思議。更に中央構造線が川内原発の近くまで伸びている可能性があること、③使用済み燃料プールが29年に満杯になる、④川内原発3号機増設の動き、⑤九電の事故隠し、⑥原発推進の知事の動向などについて報告がされました。

質疑応答の後、最後に司会からお2人に感謝が述べられ、参加者に12・4集会とデモへの参加の呼びかけがされました。それぞれの老朽原発を設計した当時の設計思想や科学水準は今日の水準とは雲泥の差があります。それを稼働させ更に延長を言うのですから許せません。全国の老朽原発を止め、全ての原発廃炉までがんばりましょう。

(城陽市 山口孝雄)

①東海第二原発の危険性、②東海第二原発で問題となる老朽化、③日本原電が発電してないのに各電力会社から金